

GEMS 英語教室 コロナウイルス(COVID-19)対策

【お母様にお願いしたいこと】

以下のことをお子様に話してください。

1. COVID-19 が流行している時はお互いに触らないこと。

お話しする時は可能な限り距離をあけること。

2. マスクの正しい着用方法や扱い方について徹底して教えてください。

落としても使ったり表と裏がわからなく、両側に口をつけてみたりする子が意外と多いです。「先生、どっちが表？」と毎週のように聞かれます。耳にかける紐と、マスクとの接着面の位置で判断しているお子様もいますが、メーカーによって接着面の位置が異なるようです。プリーツマスクは山がある方が外、ゆっくり開くとその面が山型になるよと教えています。

<https://www.o-uccino.jp/article/posts/59462>

マスクはウイルスから守ってくれるわけではないですが、**自分の口や鼻に手を入れたりするのを防いでくれます**。その結果唾液などがついた手で備品を触ることが極端に減るので必ずつけてください。

3. マスクは入室前に着用すること。

4. 必要以上に教室の備品に触れないこと。

この教室は平日のみ借りていて、週末は不特定多数の方が使用しています。病院のように設備と備品を隅々まで消毒することができません。どの場所でも言えることですが、必要以上に触れないようお話し下さい。

5. レッスン中に体調が悪くなったらすぐに先生に言うこと。

気分が悪くなった場合、連絡差し上げます。

【COVID-19 が流行している間に適用する規則】

皆様が安心してお子様をレッスンに送り出せるよう、この期間少しだけ規則を厳しくいたします。ご了承ください。

1. 教室に来る前、検温してメモパッドに記録してください。

お仕事の関係でそれが難しい場合、その旨お知らせいただけますか。**英語バックに体温計をいれておいてください**。入室後に検温させていただきます。

2. 風邪気味の場合も受講はお控えください。

レッスン中に体調が悪くなった場合、連絡しますのでお迎えにくるか、保護者の許可がとれましたら一人で帰宅させます。早退された場合、他の曜日などに振替可能にいたします。

3. 風邪の疑いがなく、花粉症や喘息があるためくしゃみや咳が出ている場合、マスクをしっかりと着用していただけるのなら受講可能ですが、繰り返しマスクを外して咳やくしゃみをし、指導に従えない場合退室していただきます。

4. マスクを忘れて教室に来てしまった場合、COVID-19 が流行している期間は入室をお断りさせていただきます。

「うちの子は絶対に忘れるわ」と心配な場合、ジップロックに名前を書き、数枚マスクをいれていただければこちらの方で保管いたします。お子様が忘れた時に渡せるようにします。

入手できるようになりましたら購入しますが、現在教室には予備の子供用マスクはございません。せっかく来てくれた教え子を帰したくないので予備を必ず英語のバッグやランドセルにいれるか、こちらの方で予備を保管させてください。

お子様には「マスクを忘れて英語教室に行くと、この時期だけ入れてもらえないでの、忘れないでね」と事前にお話しください。振替対象にさせていただきます。

入室を断った場合、お母様に連絡し、学童を中抜けされているお子様はルームに、そうでないお子様は帰宅してもらいます。

5. 同居されている方に COVID-19 の感染者がいる場合、お休みください。

厳しいことを言うようですがクラスターにならないよう最善をつくし、徹底する他ありません。
ご理解の上、みんな協力しあいながら乗り切っていきましょう。

【その他の提案】

ビニール手袋やガーゼの手袋など着用してレッスンを受講されたい場合 OK です。

【お知らせいただきたいこと】

インストラクターの LINE に下記の情報をお知らせください

体調について… 喘 息 有 無

花粉症 有 無 症状: 鼻・目・くしゃみ・咳・喉の痛み

時期 通年・_____月～_____月・_____月～_____月

アレルギー 有 無 ハウスダスト・ダニ・カビ・動物・猫・ピーナッツ・_____

症状: 鼻・目・くしゃみ・咳・喉の痛み・体の痒み・頭痛・_____

【GEMS ができること】

下記の文で「問～」と記載されているものとその答えは厚生労働省のホームページから引用しました。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/dengue_fever_qa_00001.html#Q17

問4 新型コロナウイルス感染症にはどのように感染しますか？

現時点では、飛沫感染（ひまつかんせん）と接触感染の2つが考えられます。

(1)飛沫感染 感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つばなど）と一緒にウイルスが放出され、他者がそのウイルスを口や鼻から吸い込んで感染します。

※感染を注意すべき場面：屋内などで、お互いの距離が十分に確保できない状況で一定時間を過ごすとき

(2)接触感染 感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、自らの手で周りの物に触ると感染者のウイルスが付きます。未感染者がその部分に接触すると感染者のウイルスが未感染者の手に付着し、感染者に直接接触しなくとも感染します。

手洗い

こどもたちには薬用ハンドソープで手洗いをさせペーパータオルを用意しましたのでそれを使用させます。

問16 濃厚接触とはどのようなことでしょうか？

濃厚接触かどうかを判断する上で重要な要素は二つあり、①距離の近さと②時間の長さです。必要な感染予防策をせずに手で触れること、または対面で互いに手を伸ばしたら届く距離（目安として2メートル）で一定時間以上接触があった場合に濃厚接触者と考えられます。

新型コロナウイルス感染症対策専門家会議では、対面で人ととの距離が近い接触（互いに手を伸ばしたら届く距離で2メートル程度）が、会話などで一定時間以上続き、多くの人々との間で交わされる環境は感染を拡大させるリスクが高いとされています。

濃厚接触について

4名までのレッスンは2メートル離れて座らせるのは可能です。5名、6名のレッスンは1メートルほど離して座らせます。長い机が4個ありますので、6名の場合、前の列に3人、後ろの列に3人座らせます。振替者を含めて定員6名にさせていただきます。

問5 空気感染は起きているのでしょうか？

国内の感染状況を見ても、空気感染は起きていないと考えられるものの、閉鎖空間において近距離で多くの人と会話する等の一定の環境下であれば、咳やくしゃみ等がなくても感染を拡大させるリスクがあります。

換気

頻繁に教室を換気します。但し天気が良い日は花粉が入ると思いますし、天気が悪い日は教室が寒くなります。必要なら花粉対策や、寒い日は上着などを持参してください。ルームから中抜けされるお子様は自分で上着の管理をする他ないのでお子様にお話ください。

以上

2020年4月4日